

(様式 1-3)

本宮市生活拠点形成事業計画 生活拠点形成事業等個票

平成 26 年 3 月時点

※本様式は 1-2 に記載した事業ごとに記載してください。

NO.	6	事業名	災害公営住宅入居者専用駐車場整備事業（仁井田 2）	事業番号	◆A-1-3-1
交付団体	本宮市		事業実施主体（直接/間接）	本宮市（直接）	
総交付対象事業費	12,350（千円）		全体事業費	12,350（千円）	
事業概要					
<p>原子力災害により避難を余儀なくされている居住制限者の居住の安定を確保するための、災害公営住宅に係る駐車場を整備する。</p> <p>【整備概要】</p> <p>整備台数：38 台分</p> <p>整備箇所：本宮市仁井田字樹形地内</p> <p>※当該事業を復興ビジョン、復興計画、復興プラン等に位置付けている場合は、該当箇所及び概要も記載してください</p> <p>『福島県復興計画第 2 次』</p> <p>取組名：生活再建支援プロジェクト【復興公営住宅整備】</p> <p>取組内容：避難町村の意向を十分に確認しながら、県営住宅を含む様々な整備方法を検討する。</p> <p>『浪江町復興計画第 1 次』</p> <p>取組名：仮設住宅・借上住宅など住環境の改善</p> <p>取組内容：仮設、借上住宅で解決できない住環境改善を図る。</p> <p>『本宮市第 1 次総合計画後期基本計画』</p> <p>取組名：原子力災害による避難者の支援</p> <p>取組内容：原子力災害による避難者を支援するため、復興公営住宅の整備を行う。</p>					
居住制限者の避難の状況との関係					
<p>入居する居住制限者の自動車保有台数は多く、日常生活や避難元の市町村への一次帰宅の際に自動車を利用すること、多くの来客者が見込まれることから、災害公営住宅に周辺状況や地元自治体の条例等を勘案し、十分な駐車場整備が必要である。</p>					
※避難者支援事業等である場合には以下の欄を記載。					
関連する基幹事業					
事業番号	A-1-3				
事業名	災害公営住宅整備事業（仁井田 2）				
交付団体	本宮市				
基幹事業との関連性					
<p>災害公営住宅入居者が自動車を利用した生活を送ることができるよう、自動車を留め置く場所の確保が必要である。</p>					